

平成 29 年度第 1 回日本生理学会教育委員会議事録

日 時 2017年3月27日（水） 10時00分～12時00分  
会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6 1 会議室  
出席者 石松秀（西九州大）、江崎誠治（大阪大谷大（認定委リエゾン））、岡本圭一郎（新潟大院  
医歯）、奥村哲（静岡理工科大）、河合佳子（東北医薬大）、鯉淵典之（群馬大）、小山な  
つ（滋賀医大）、椎橋実智男（埼玉医大）、渋谷 まさと（女子栄養短大）、鈴木敦子（健  
康科学大）、中島昭（藤田保健衛生大）、深田 優子（生理研）、南沢享（慈恵会医大）、  
（以上50音順 敬称略）  
欠席者 田中美智子（福岡県大院）、三谷 昌平（東京女子医大）、山下 俊一（女子栄養大（編集広報  
委リエゾン））、渡邊 マキノ（順天堂大（認定委リエゾン））  
議 長 鯉淵 典之 委員長 書 記 奥村 哲

**【報告事項】**

**1. 前回教育委員会議事録について（奥村委員、資料1）**

平成 28 年 11 月 23 日 慈恵会医科大学で開催された平成 28 年度第 3 回日本生理学会教育委員会議事録案が確認され、承認された。

**2. 理事会報告について（資料1-2）**

鯉淵委員長より配布資料に基づいて報告があった。第 2 回医学生生理学クイズ日本大会（4 月 16 日（日）@大阪医大）の後援と委員派遣についての理事会への提案内容などが報告された。今後は「医学生」を外していくことを要望していることが報告された。

**3. 日生誌教育のページの進捗状況について（小山委員、資料2）**

配布資料に基づいて第79巻2号までの予定とその後数号の著者予定について報告があった。自主投稿が年1稿程度ある。今後は教育講演の演者の先生の他、医学生生理学クイズ日本大会を実施した学生などを候補として検討していくことが報告された。

**4. 出版事業に関する昨年度実績について（鯉淵委員長、資料3）**

生理学問題集（CBT準拠）、クリアブック、新訂生理学実習書に関する昨年度実績について資料にもとづいて報告された。今後は、生理学用語集の編纂をすすめる方針が確認された。

**5. 認定委員会からの報告（中島生理学エディタール認定委員会委員長、資料あり）**

中島認定委員会委員長より、当日朝の同委員会討議事項と理事会報告事項について報告があった。留学者や退会者の扱いについて規程の内容を含めて検討すること。今後、シニアエディタール（仮称）制度のありかたについて検討する方針であることが報告された。

**6. 医学生生理学クイズ大会日本大会について（鯉淵委員長 資料4）**

大阪医大の主催で開催される2017年大会（4月16日（日）予定）の準備状況が資料にもとづいて報告された。この大阪大会へのChen先生の招聘（基本的には手弁当でご参加）に関してどういう支援が可能か？ 「医学生」クイズという名称をどうするか？ などについて現時点での検討状況が報告された。

**7. 他学会連携教育シンポジウムについて（鯉淵委員長 資料5）**

日本薬理学会大会、日本解剖学会大会における若手育成に関連させて生理学エデュケーター認定制度に関する鯉淵委員長が講演することが報告された。薬理学会では、同様の制度を独自に実施していく方向にあることが報告された。

#### 討議事項

**1. 浜松大会での教育プログラムについての役割分担の確認（石松委員、椎橋委員 当日配布資料あり）**

具体的な時間割、各時間の人員配置、直前の準備について確認された。

**2. 来年度教育プログラムについて（石松委員 資料なし）**

香川大会のでは現時点では4スロット（そのうちモデル講義が1）ですすめる方針が討議された。

**3. 生理学会大会で高校生を発表を行うことについて（南沢委員）**

香川で行われる生理学会年大会で高校生を発表を行う件について討議された。南沢委員が大会委員と共の準備・検討をすすめて、一定の発表者数が得られた場合には、審査>表彰する方針が合意された。

**4. 教育プログラムの今後について（鯉淵委員長）**

教育講演、モデル講義、若手の会との連携について討議された。FAOPSについては、英語で行う教育ワークショップ（3月27～28日）と教育 one day symposium(29日)が検討されている。

**5. 将来検討委員会との連携事業について（鯉淵委員長）**

統合型教育への変化に対応した生理学教育のあり方について、アンケート、情報発信等について検討するWGを設置することなどが討議された。

**6. 今後の活動について（鯉淵委員長）**

「一步一步」との関わり、FAOPS教育サテライトと本大会のシンポジウムについて、生理学用語集、香川大会の準備、今後委員会のあり方について、自由討論された。